

認定こども園めぐたまへ入園 11名のめんどたち

4月5日、認定こども園めぐたまで入園式が行われ、乳児部8名、幼児部3名、計11名の園児たちが入園しました。式典では、井上巨園長と佐藤英司町長からの挨拶があり、続いて一人ひとりの紹介が行われました。名前が呼ばれると、子どもたちからは可愛い返事が聞かれ、会場は温かな雰囲気になりました。



- ① 2歳児 うさぎ組
- ② 1歳児 りす組
- ③ 0才児 ひよこ組
- ④ 3歳児 もも組
- ⑤⑥ 新入園児紹介の様子

柴田清正氏の永年の功績を称える 旭日双光章受章記念祝賀会を開催

3月15日、農村環境改善センターで柴田清正さん(入有屋)の旭日双光章受章記念祝賀会が開催され、吉村美栄子知事をはじめとする約170名の大勢の方が集い、受章を祝いました。柴田さんはこの受章に対し「目に映るすべての人の恩恵を心に受けて今日も生きゆく」、「温かき人に出逢えて今日のあり 辛いも甘いも感謝に生きる」と歌を詠み、感謝の気持ちを表しました。柴田さんは永年町議会の議長や山形県町村議会議長会会長などを歴任されました。誠にありがとうございます。



- ① 花束贈呈は、お孫さんの柴田凛さん、裕さん、紗来さんから。奥様の正子さんへは清正さんから花束が贈られました。
- ② 柴田正子さん(左) 吉村美栄子知事(中央) 柴田清正さん(右)
- ③④ 記念祝賀会の様子

まちのわだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報・DX推進係 ☎29-5601

37名が新たなスタート! 金山中学校第79回入学式

4月7日、金山町立金山中学校で令和7年度第79回入学式が行われ、新たに37名の生徒が入学しました。安食秀一校長は「人と人との結びつきや社会を作っていくために必要な『社会力』を身に付けてほしい。挨拶や対話を大切にしてほしい」と式辞を述べ、柴田志乃さん(稲沢)は「先生方の教えを心にとめ、先輩方の姿を見習い、仲間と一緒に道を切り開いて行きたい。常に向上心を持って頑張っていきたい」と新入生誓いの言葉を力強く宣言しました。



- ① 誓いの言葉を述べる、新入生代表の柴田志乃さん
- ②③ 真剣な表情で式に臨む新入生の皆さん
- ④ 式辞を述べる安食秀一校長
- ⑤ 新入生37名とその保護者

歌手永山茂樹が贈る熱い歌声 5年ぶりとなる新曲「のんべえ流し」をリリース

3月3日、金山町を代表する歌手の永山茂樹さん(稲沢)が、5年ぶりとなる新曲「のんべえ流し」をリリースしました。今回のCDには「のんべえ流し」と、永山さんがカバーされた「金山小唄」が収録されており、「歌は町にうるおいを、歌一生、歌に一筋」をモットーに、50年以上にわたり歌の道を行ってこられた永山さんの熱い思いが込められています。このCDは、金山郵便局と金山町農村環境改善センターに設置されており、無料で配布されています。ぜひお手に取って、永山さんの歌声をお楽しみください。



- ①新曲のポスターを手にポーズをきめる永山茂樹さん
- ②10月13日に開催された第45回金山町産業まつりでファンに手をふる永山茂樹さん
- ③新曲「のんべえ流し」のCDジャケット

金山初 eスポーツフェスタが開催

3月23日、旧明安小学校の体育館で第1回ジムコミeスポーツフェスタが開催され、33名が来場しました。このイベントは、昨年8月25日に旧明安小学校にオープンした運動施設「ジムコミ」を活用し、地域住民の交流の場を提供するために実施されました。デジタルバドミントンやテレビゲーム、トランプゲームなどのブースが用意され、参加者からは「eスポーツイベントは金山で初めてなので嬉しい」「ジム×eスポーツのイベントは珍しく、運動もゲームも楽しむことができた」といった様々な声が聞かれました。



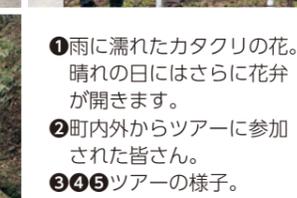
町内5地区で山の神勸進が開催

4月2日、町内5地区(山崎・内町・安沢・片貝・下野明)で山の神勸進が行われました。内町地区では小学校1年生から中学校2年生までの男子児童・生徒が10名参加し、豊作や無病息災、家内安全などを願いながら、「山の神の勸進 握り地蔵参った祝ったもれ」と大きなかけ声をかけながら約50件の家々を訪問しました。山の神勸進に参加した金山中学校2年の松阪菜叶さん(内町)は「幼い頃から行事に参加している。地域の方々の喜ぶ顔が見られて心が和みました。来年も参加したいです」と笑顔で感想を述べてくれました。



町の花「カタクリ」を楽しむ春の散策 遊学の森でむらさきの里かたくりまつりが開催

4月20日、遊学の森で「むらさきの里かたくりまつり」が開催されました。かたくりまつりでは、町の花に制定された「カタクリ」を観察するツアーが行われ、森の案内人を含む約30名が参加しました。カタクリは4月下旬から5月中旬頃に咲く紫色の花で、花言葉は「初恋」。1か月ほどしか咲かないため、スプリングエフェメラル(春の儂い命)と呼ばれています。参加者は芽を出した約数千本のカタクリの他に、キクザキイチゲやオトメエンゴサクなどの貴重な花々を楽しみました。伊藤美根子さん(新庄市)は「本格的な山登りは難しいが、草花を眺める散策は楽しい。たくさん咲いているカタクリを観察できて良かった」と感想を述べてくれました。



- ①雨に濡れたカタクリの花。晴れの日にはさらに花弁が開きます。
- ②町内外からツアーに参加された皆さん。
- ③④⑤ツアーの様子。

除籍本の再利用がスタート 毎週火曜・木曜は「もったいない文庫」

3月25日、交流サロンポストで除籍になった絵本などを無償で提供する「もったいない文庫」が開催され、小学生や親子連れなど70名以上が来場しました。イベントを体験した金山小学校5年の長倉待土さん(荒屋)は「たくさん本を読むことができた。金山らしいデザインのしおりを作ることができた」と感想を述べました。また、参加した町民からは「除籍本を再利用する試みが素晴らしい」「自分も読まなくなった絵本を持ち込みたい。必要な人に受け取ってもらいたい」といった声が聞かれました。

